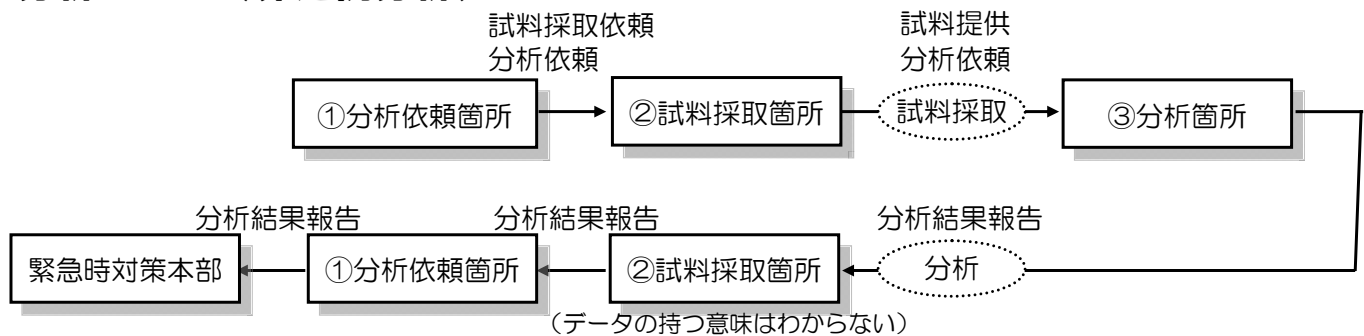


<参考> 地下水調査結果の通報・公表遅れについて

■ 主な時系列

<ul style="list-style-type: none"> 5/24 観測孔No1～3の地下水サンプリング 5/31 5/24採取分の分析結果(高濃度のトリチウム検出)を分析箇所から試料採取箇所へ回答 →分析箇所と試料採取箇所が協議し、データの信頼性が疑われるため再分析することを決める 6/7 観測孔No1～3の地下水サンプリング ※再分析 	<ul style="list-style-type: none"> 5/31 観測孔No1～3の地下水サンプリング 6/7 5/31採取分の再分析結果(高濃度のトリチウム検出)を分析箇所から試料採取箇所へ回答 →休日等により試料採取箇所が実際に分析結果を確認したのは6/11
6/11 ・試料採取箇所から分析依頼箇所へ分析結果を報告 ・水処理を検討する会議で、試料採取箇所より一部の本店・発電所関係者に分析結果が情報共有される	
6/12～13 一部の社内関係者間で5/24と5/31の分析結果を情報共有し、継続して評価・検討することを確認	
<ul style="list-style-type: none"> 6/14 6/7採取分の再分析結果を分析箇所から試料採取箇所へ回答 	
6/14 試料採取箇所より本店を含む社内関係者に情報共有される。検討の結果、5/24に採取したストロンチウムの分析結果を待ち、6/19に公表することとする。	
6/19 公表、25条通報実施	

■ 分析フロー（非定例分析）



■ 状況と原因

- 5/24採取分の分析結果で高濃度のトリチウムの他にルテニウムも検出され、放射性物質の付着等の可能性が疑われたため、②試料採取箇所と③分析箇所の判断で再分析を決めた。
- 上記の背景には、最近、③分析箇所が発生した放射性物質の付着による誤測定があった。
→【原因】非定例的な分析結果の緊急時対策本部への情報共有方法が不明確であったため、②試料採取箇所から①分析依頼箇所へ迅速な結果報告が行われなかった。

■ 対策

- 分析結果は、③分析箇所から①分析依頼箇所に速やかに提供し、①分析依頼箇所から緊急時対策本部に共有する（異常値の有無に関わらず共有）。
- 緊急時対策本部は、速やかに通報・公表の要否・方針を決定する。